



南魚沼市 池田記念美術館

北井一夫 写真の旅人

アートスペース シモダ 所蔵写真展

2024年5月25日(土)–7月7日(日)

開館時間: 9:00-17:00 / 最終日は 15:00 閉館 (入館は閉館の30分前まで) 休館日: 毎週水曜 入館料: 一般500円 / 高校生以下無料

協力: アートスペース シモダ、静岡県立美術館、ツァイト・フォト国立、G&S根雨 後援: 新潟日报社、小千谷新聞社、十日町新聞社、妻有新聞社、越南タイムズ、雪国新聞、FMゆきぐに76.2

北井 一夫 写真の旅人

ヴィンテージプリントを中心に
作品約300点を一挙大公開!



〈村へ〉より《馬方》宮城県石巻市 1973年

北井 一夫 | きたい かずお

Profile: 1944年、中国・旧満州生まれ。日本大学芸術学部写真学科中退。1965年に写真集『抵抗』を出版。その後、神戸港の港湾労働者、日大全共闘や三里塚、返還前の沖縄を取材したドキュメンタリー写真を発表する一方、全国各地の見知らぬ土地をたずねて、人々の暮らしや風景をアサヒグラフやアサヒカメラに〈いつか見た風景〉〈村へ〉として掲載。72年に第22回日本写真協会新人賞、76年には第1回木村伊兵衛写真賞を受賞。73年には木村伊兵衛らと国交正常化後の中国を訪問し、以後何度も中国に出かけ〈1990年代北京〉シリーズを発表。そのほか、浦安の漁村風景〈境川の人々〉、大阪の遊興地〈新世界物語〉、東京郊外の新興住宅や団地の人々の生活を撮った〈フナバシストーリー〉、ドイツ表現派の建築写真〈ドイツ表現派紀行〉、〈おてんき〉、〈ライカで散歩〉など多数のシリーズ写真がある。

今回の写真展は、北井氏の作品数百点を所蔵する「アールスペース シモダ」のコレクションの中からヴィンテージプリントを中心に厳選し、日本が世界に誇る写真家のひとり、北井一夫の初期から現在までを紹介いたします。写真界も写真家もアツと驚く写真展です。

出品作品

〈抵抗〉、〈三里塚〉、〈いつか見た風景〉、〈村へ〉、〈1973年中国〉、〈新世界物語〉、〈おてんき〉、〈ライカで散歩〉ほか合計約300点



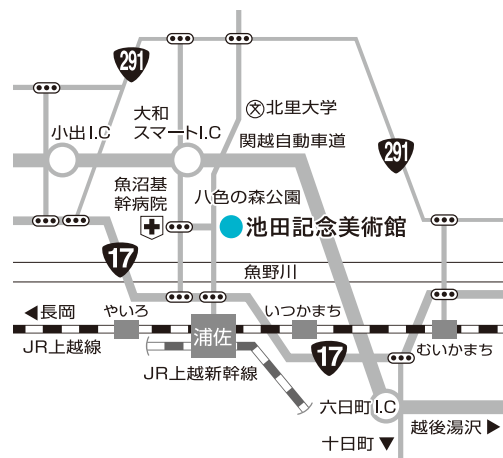
〈いつか見た風景〉より《やまばの里》新潟県青海町 1975年



〈村へ〉より《学績・おうみ》新潟県塩沢町 1976年
表面: 〈村へ〉より《お盆》岡山県久米町 1974年

会期中のイベント

- ①トークショー「写真と旅」
5月25日(土) 14:00～
北井一夫 × 石井仁志(20世紀メディア評論)
- ②ギャラリートーク「作品鑑賞」
6月22日(土) 14:00～
北井一夫 × 下田賢司(アールスペース シモダ) × 石井仁志
- ③トークショー「1970年代の写真とのら社」
6月23日(日) 14:00～
北井一夫 × 橋本照嵩 × 金丸裕子(ライター・編集者)



交通のご案内:

上越新幹線 JR 浦佐駅東口より約1km / 徒歩 15分
関越自動車道 大和スマート I.C. より車 3分
六日町 I.C. より 15分 小出 I.C. より 10分

南魚沼市 池田記念美術館

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐 5493-3 八色の森公園内
TEL 025-780-4080 FAX 025-777-3815 www.ikedart.jp

